

平成26年6月27日

立教大学と連携した取組み 埼玉県の魅力発信に向けたプランを大学生が発表いたします！

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）は、地域活性化の新たな取組みとして立教大学（総長 吉岡知哉）経営学部の先進的教育プログラム「BLP」（※）を活用し、「食」と「スポーツ」の2分野において、立教大学の学生（57チーム、269名の学生が参加）が、埼玉県の魅力発信に向けたプランの研究を26年4月より開始いたしました。

研究は選抜形式で進行し、今般、一次予選通過10チームのなかから、更に選抜された5チームが策定したプランのプレゼンテーションを行う「BLP企画提案発表会」を開催し、最優秀チームが決定いたします。

なお、学生からの研究内容については今後、当行、立教大学、埼玉県で構成する「産学連携推進協議会」において事業の実現に向けて協議をしております。

当行は今後とも、さまざまな取組みを通して、地域活性化に取り組んでまいります。

※BLP (Business Leadership Program)

立教大学独自のリーダーシップ開発プログラムで、学外のクライアントから学生のアイデアを必要としているテーマを募集し、学生がそのテーマに関してグループワークを行い、クライアントに対して新たな企画を提案している(文部科学省の教育グッドプラクティスにも選定されている)。

【参考URL】 <http://cob.rikkyo.ac.jp/blp/about.html>

1. BLPのテーマについて

- (1) 2年生対象、以下のテーマを設定。
- (2) 学生がチームごとに、①または②の分野で埼玉県の魅力発信につながる企画を考案。

テーマ	埼玉県の魅力を多くの若者に伝えるためのプラン策定
分野	①「食」で魅力発信、②「スポーツ」で魅力発信

2. 発表会について

日 時	平成26年7月1日(火) 10:45～12:15
会 場	立教大学池袋キャンパス タッカーホール
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・全57チーム中、一次予選を通過した10チームから、最終予選通過5チームを発表 ・5チームが企画提案のプレゼンテーションを実施(各チーム8分) ・当行と大学によって審査を行い、各々で最優秀チームを決定 >審査基準：効果の大きさ、実現可能性、わかりやすさ、おもしろさ ・当行から「クライアント賞」、大学から「教員賞」を授与(賞状、副賞)

3. 立教大学との主な取組み

- (1) 平成19年に「埼玉県の地域活性化」を目的として産学連携協定を締結、観光学部とのプロジェクトによる「まち歩きマップ」の作製等を実施。
(幸手、羽生、行田、加須、大宮氷川参道)
- (2) 本年度から新たに経営学部との連携を開始し、より包括的な活動を展開している。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 郷、小泉
TEL (048) 641 - 6111 (代) 内線 2555, 2556

